

動物実験に関する現況調査票

大東文化大学

スポーツ・健康科学部及びスポーツ・健康科学研究科

平成 27 年 10 月

飼養数は、特定の日（ 年 月 日 現在）で記入ください。
集計困難であれば、未集計として下さい。

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
	4 件	2 件	0 件	5 件	0 件

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
	7 人 ¹⁾	11 人 ¹⁾	112 人 ²⁾	122 人 ²⁾	95 人 ²⁾

1) はゼミ・卒研生

2) は学部実習生とゼミ・卒研生

5. 実験動物飼養保管施設の現況

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
スポーツ・健康科学部及び スポーツ・健康科学研究科 動物実験施設 (動物飼育室・ 動物実験室)	スポーツ・健康科学部 学部教授 ・大城 聡 (医学博士)	スポーツ・健康科学部 健康科学科 准教授・蕪木智子 (学術博士・20 年)	ラット マウス	50 匹 500 匹

飼養保管施設の数に応じて、表の行を増やしてください。

6. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

本学では、平成 21 年に動物取扱規定を策定し、平成 22 年より学部および研究科の動物実験委員会を設置するとともに年間 0~5 件の動物実験計画の審査、承認を実施してきた。自己点検評価については、文部科学省基本指針を受けて動物実験規定を改正し、新たな体制となった平成 24 年度より自己点検の準備を開始したが今年度から現況調査票の公開を開始した。

主にスポーツ・健康科学部においては健康科学科の学部実習、ゼミ・卒研及び学科教員の研究課題、スポーツ・健康科学研究科においては大学院生の修士論文の研究課題及び大学院指導教員の特別研究・科学研究費の研究課題において健康科学、栄養学およびスポーツ科学等の各分野の研究遂行のために動物実験が行われている。

尚、本実験施設は大学間の共同研究でも利用され、地域連携や地域貢献でも利用可能である。2009 年度スポーツ・健康科学研究科設立時に設置された大学院旧研究棟（旧 3 号館）から現在の新研究棟 10 号館 4 階の動物飼育室に平成 24 年度 4 月に移転した。また、平成 24 年 12 月 18 日、第一回スポーツ健康科学部及びスポーツ・健康科学研究科主催動物慰霊祭が執り行われ、以後恒例行事となっている。